

平成31(2019)年度(第57回) 神奈川県高等学校総合体育大会
平成31(2019)年度(第72回) 全国高等学校総合体育大会県予選会
平成31(2019)年度(第72回) 関東高等学校陸上競技大会県予選会

主催 神奈川県高等学校体育連盟
(一財)神奈川県陸上競技協会
神奈川県教育委員会
後援 神奈川県新聞社

1日目	2019年5月11日(土)	9時30分	競技開始
2日目	2019年5月12日(日)	9時30分	競技開始
3日目	2019年5月18日(土)	9時30分	競技開始
4日目	2019年5月19日(日)	9時30分	競技開始

2 会場 11・12日 川崎市等々力競技場 川崎市中原区等々力1-1 TEL044-722-0303
18・19日 横浜市三ツ沢公園陸上競技場 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1 TEL045-311-2016

3 種目 男子 21種目 100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 110mH(1.067m/9.14m) 400mH(0.914m/35.0m)
3000mSC 5000mW 4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳
砲丸投(6.000kg) 円盤投(1.750kg) ハンマー投(6.000kg) やり投(0.800kg)
八種競技
女子 20種目 100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mH(0.838m/8.50m) 400mH(0.762m/35.0m)
5000mW 4×100mR 4×400mR、走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳
砲丸投(4.000kg) 円盤投(1.000kg) ハンマー投(4.000kg) やり投(0.600kg)
七種競技

- 4 参加資格 ①選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む。)に在籍する生徒であること。
②選手は、神奈川県高等学校体育連盟加盟校の生徒で神奈川県陸上競技協会の登録者であること。
③年齢は、平成12年4月2日以降に生まれたものであること。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回に限る。定時制・通信制の生徒については、4年間で3回の出場に限る。
④全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。定時制、通信制の生徒がこの大会に出場した学校は、定時制、通信制の全国大会に出場は出来ない。
⑤再編統合対象校の学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
⑥転校・転学後6カ月未満の者は出場できない。外国人留学生もこれに準ずる。但し、一家転住等やむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟陸上競技専門部長の承認があればこの限りではない。
⑦参加する選手は、在学する学校長の出場許可を必要とする。(「11 申し込み方法について参照」)
⑧参加資格の特例
ア、上記①及び②に定める生徒以外で、競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、神奈川県高等学校体育連盟が認めた生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
イ、上記③の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は3回限りとする。

【別途に定める規定】

- (1)学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、神奈川県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒である。
- (2)以下の条件を具備すること。
 - ①大会参加資格を認める条件
ア、神奈川県高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

- イ、参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
- ウ、各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っておらず運営が適切であること。

②大会参加に際して守るべき条件

- ア、神奈川県高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、陸上競技大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ、大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入するなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ、大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 5 出場制限 **1種目1校3名以内。リレーは、1校1チーム6名以内とする。
同一人は3種目以内(リレー種目を除く)とする。**

[外国人留学生出場の場合に関する条件]

- ア、学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学してくる生徒であること。
- イ、在籍校が、都道府県高等学校体育連盟に加盟していること。
- ウ、年齢は、平成12年4月2日以降に生まれた者とする。
- エ、短期留学は除く。
- オ、人数については、男女それぞれ1校4名以内とし、1種目につき1名(リレーも含む)とする。
同一人は3種目以内。ただし、リレーに参加する場合には、個人種目と合わせて4種目まで認める。

- 6 競技方法 ①学校対抗とし種目別入賞は8位までとする。
②合計得点により、男女別の学校順位を決定する(得点は1位8点、2位7点……8位1点)。
③その他は、2019年日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項による。

- 7 表彰 ①学校対抗8位まで、種目別8位までを表彰する。
②男女別優勝校には優勝杯を贈る(但し、持ち回りとする)。
③男・女各1名に最優秀選手賞を贈る。

- 8 関東大会 本大会決勝で各種目1位～6位までに入賞した者は6月14日～17日に茨城県笠松運動公園陸上競技場で行われる南関東大会に出場できる。但し、走高跳、棒高跳は6位までの入賞者6名とする。
(但し、競歩・混成競技・女子三段跳・女子ハンマー投については1位～4位まで女子棒高跳は4名まで出場できる。)

- 9 地区予選会 ① 4月27日(土) 4月28日(日) 川崎地区(等々力)・中地区(不入斗)
5月3日(金) 5月4日(土) 横浜地区(三ツ沢)・西地区(城山)
②各地区大会で、下記の上位入賞者は県大会の出場権を得る。
川崎地区(6名) 横浜地区(16名) 中地区(11名) 西地区(16名) 合計49名

※男女走高跳は、上記の人数枠に関係なく男子1m80、女子1m50の標準記録を突破した選手が県大会への出場権を得る。

(注1) シード権の行使については、別紙(顧問総会時配布)を参照のこと。

(注2) 混成競技については事前資格審査の後、24名が直接県大会に出場できる。(資格審査の欄参照)

10 申込方法

①申し込み期日 川崎・横浜・**中地区・西** 4月15日(月) 必着

②申し込み先

川崎地区	〒213-0011	川崎市高津区久本 3-11-1	川崎市立高津高校内	原 正教
横浜地区	〒244-0845	横浜市栄区金井町100番地	県立金井高等学校内	尾崎 孝
中地区	〒253-0042	茅ヶ崎市本村3-4-1	県立茅ヶ崎高等学校内	米田 祐介
西地区	〒252-0307	相模原市南区文京1-11-1	県立神奈川総合産業高校内	諸石 晃

③申し込み書類 (a) 学校長の参加申し込み書(一覧表)

(b) 個人申込書

(c) リレー申込書

(d) 混成競技資格審査用紙

(e) 振り込み完了の控え(コピー可) ※川崎地区以外

※混成競技申込者は、(b)の個人申込書は必要ありません

④参加料 一人1種目 **1000円**、リレー1種目1000円を申し込みと同時に振り込むこと。

※川崎地区のみ現金書留で納入

⑤申し込みは、申し込み書類・返信用封筒を同封のうえ、郵送のこと。

※中地区は返信用封筒について、別紙要領で連絡あり。

※横浜地区はWEBサイトでの申し込みに変更となります。★別紙資料を確認してください。

(注) 横浜・中・西地区の参加料は振込みで行う。

(横浜) 口座番号 6079824 横浜銀行 港北ニュータウン北支店(379)

口座名 横浜地区高体連 陸上専門部 委員長 岡本克己

(中) 口座番号 0205774 かながわ信用金庫大津支店(023)

口座名 中地区陸上専門部

(西) 口座番号 6105939 横浜銀行 愛川支店(432)

口座名 高体連陸上専門部(西)委員長 小林道徳

11 その他

①選手番号は**2019年度**の登録番号とする。申し込み書類a, bの登録番号欄に記入すること。

②ナンバーカードは白地の布(横24cm固定×縦14~20cm)に黒字(縦10cm)で登録番号を記入したものを胸部・背部に着ける。(別紙の数字サンプル参照)

③棒高跳用のポールは各学校持参のものを、検査を受けたうえで使用してもよい。投てき用器具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、指定時間までに個人物を検査のうえ使用出来る。検査を通った用具は競技場用具と同じ扱いとする。

④競技場は全天候型である。ピンの長さは9ミリ以下、ただし走高跳・やり投は12ミリ以下。走路の保全と競技者の安全のために競技規則143条を参照。

⑤**男三段跳は12mピット、女三段跳は9mピットを使用する。**

⑥**競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること**

⑦参加校は、補助員を1名以上必ず出席させること。

⑧前年度(**第56回**大会)に優勝杯を授与された学校は、**5月11日(土)**競技開始までに本部に返還すること。

⑨地区予選のプログラム編成は、**4月17日(水)**に各地区専門委員会で行う。

競技順序はプログラム編成後、各校に通知するので返信用封筒(切手92円を貼った長3サイズ)を同封すること。(中地区は別途連絡有り)

(県大会プロ編成**5月7日(火)** 横浜平沼高校 予定)

⑩申し込み書類(一覧表、個人票)は高体連専門部規定のもの(3月の顧問総会時に配布)を使用する。

⑪南関東大会出場資格を得た者は、直ちに関係書類を本部にて受領のこと。

(関東大会申し込み **5月22日(水)** 中央大学附属横浜高校 予定)

⑫**リレー競技・混成競技を除く各種目上位8位までの入賞者はその種目に限り今年度の神奈川県高等学校新人陸上競技大会の出場権を、地区予選を経ずに得られる。(県新人大大会エントリー方法等については別に定める。)**

《県大会競技日程》

- 第一日目 男女4000m予・準・決、男1500m予・決、女1500m予、男3000mSC予
女5000mW決、男女4×100mR予
女走高跳、男棒高跳、男走幅跳、男やり投(0.800kg)、女やり投(0.600kg)、8種前半、
- 第二日目 男女100m予・準・決、男400mH(0.914m/35.0m)予・決、女400mH(0.762m/35.0m)予・決
女1500m・決、男3000mSC決、男女4×100mR決
女棒高跳、女走幅跳、男砲丸投(6.000kg)、女砲丸投(4.000kg)、8種後半、
- 第三日目 男女200m予・準・決、男女800m予・準、女3000m予、男5000m予
男5000mW決、男女4×400mR予
男走高跳、女三段跳、男ハンマー投(6.000kg)、女ハンマー投(4.000kg)、7種前半
- 第四日目 男女800m決、女3000m決、男5000m決、男110mH(1.067m/9.14m)予・準・決
女100mH予・準・決、男女4×400mR決
男三段跳、男円盤投(1.750kg)、女円盤投(1.000kg)、7種後半

混成競技の資格審査について

《混成競技標準記録》

男子（八種）		女子（七種）	
総合得点	4000点	総合得点	2900点
100m	12.04(11.8)	200m	28.64(28.4)
400m	54.14(54.0)	800m	2.45.00
1500m	4.55.00	100mH	18.64(18.4)
110mH	18.04(17.8)	走高跳	1m30
走高跳	1m60	走幅跳	4m40
走幅跳	5m90	砲丸投	7m70
砲丸投	8m70	やり投	25m00
やり投	37m00		

- ◆ 各種目の標準記録（得点）の有効期間は2018年4月1日～2019年4月5日までに記録した公認記録とする。
- ◆ 事前に次の順番で参加資格審査と選考を行い24名が直接県大会に出場できる。
 - ①一次審査として8種・7種ともに総合得点をクリアした競技者。
 - ②二次審査として8種・7種ともに3種目以上標準記録を上回る競技者。
 - ③三次審査として8種・7種ともに2種目の記録を得点化し、その合計得点の上位の競技者。
- ◆ 申し込みが24人を超えた場合は次のように選考する。
 - ①一次選考で24人を超えた場合は総合得点の上位の者から24人が県大会に出場できる。
 - ②二次選考で24人を超えた場合は標準記録を超えている3種目を得点化し、その合計得点が上位のものから県大会に出場できる。
 - ③三次選考で24人を超えた場合は2種目の記録を得点化して、その合計得点が上位のものから県大会に出場できる。
- ◆ 各種目とも標準記録をクリアした公認記録、大会名、期日を混成競技資格審査用紙に必ず記入すること。また、100m、200m、100mH、110mH、走幅跳の各種目の記録については、風力を記入すること。
- ◆ 走高跳は標準記録をクリアしている、していないにかかわらず記録を記入すること。
※公認記録がない場合は参考記録を記入すること。その際、記録の後に(参考)と記入。
- ◆ 事前資格審査は専用の「混成競技資格審査用紙」のコピーを県立金沢総合高校 片野まで郵送(速達等)で送ること。4月1日(月)～4月6日(土)必着
〒236-0051 横浜市金沢区富岡東6-34-1 県立金沢総合高校 片野敦士 宛
※「混成競技資格審査申請紙は25年度に書式変更していますので必ず確認すること。」
- ◆ 資格審査後、県大会出場可否の連絡をしますので、出場が確定した場合は、「混成競技資格審査用紙」の原本を申し込み書類と同封すること。